

世界と戦った 市川市ゆかりのメダリスト

感動をありがとう

7月21日から8月8日まで
東京2020オリンピックが、
8月24日から9月5日まで
東京2020パラリンピックが開催され、
さまざまな競技で
市にゆかりのある選手が出場しました。
バスケットボール女子の競技では、
市川市出身の三好南穂選手、
市内私立中学校・高等学校に在学していた
赤穂ひまわり選手が出場し、
オリンピックにおいて、
日本バスケットボール史上初の
銀メダルを獲得しました。
そんな歴史的な快挙を成し遂げた2人に、
オリンピックを振り返っていただきました。

図 318-2013スポーツ課



写真:青木敏二/アフロスポーツ



Naho Miyoshi

三好南穂選手

1993年12月21日市川市生まれ
菅野小学校・東国分中学校出身
Wリーグトヨタ自動車 アンテロープス所属



Himawari Akaho

赤穂ひまわり選手

1998年8月28日石川県七尾市生まれ
昭和学院中学校・高等学校出身
Wリーグ デンソー アイリス所属

激闘を終えて

東京2020オリンピックを振り返ってどのような大会でしたか

三好南穂選手(以下 三好選手) たくさんの方々のおかげで無事開催できたことに感謝しています。また母国開催で出場し、メダルも取ることができ特別な大会となりました。

赤穂ひまわり選手(以下 赤穂選手) 毎試合楽しんでプレーし、銀メダルも獲得することができたので、最高の大会でした。

コロナ禍での開催となりましたが、

大会に臨むにあたって大変だったことはありますか

三好選手 海外のチームと練習試合ができないことや外出できないことが大変でした。

赤穂選手 事前合宿からずっとバブル方式※でしたので、外出できなかったことが大変でした。

※選手や運営関係者を隔離して外部の人と接触をなくす方式

勝つためにどのような気持ちを持って試合に挑みましたか

三好選手 コートではスリーポイントを狙う、ベンチでは声を出してチームメイトを鼓舞するなど「自分ができることをやるだけ」と考えて試合に臨んでいました。

赤穂選手 これまでやってきたことを信じて、やりきる気持ちを持って挑みました。

オリンピックにおいて日本バスケットボール史上初の

メダルを手にしたとき、どのような気持ちでしたか

三好選手 うれしい一言です。自分たちのバスケット、チームを信じてやってきて良かったなと思いました。

赤穂選手 率直にうれしかったです。

今後の目標は何ですか

三好選手 所属チームに戻って、皇后杯とWリーグの二冠です。

赤穂選手 次は所属チームのデンソー アイリスで日本一になりたいです。

バスケットボール女子日本代表結果

試合日程	対戦国	得点数	勝敗
7月27日	VSフランス	74:70	○
7月30日	VS米国	69:86	● (予選リーグ)
8月2日	VSナイジェリア	102:83	○
8月4日	VSベルギー	86:85	○ (準々決勝)
8月6日	VSフランス	87:71	○ (準決勝)
8月8日	VS米国	75:90	● (決勝)

市川のこと、バスケットボールのこと

市川での思い出の場所、

もしくは好きなどころはどこですか

三好選手 よくドリブル練習をした実家の前のコンクリートです。負けず嫌いで自分に課した目標をクリアできるまでは家に戻りませんでした。

赤穂選手 昭和学院中学校・高等学校です。

学生時代からバスケットボールをするために

心掛けてきたことはありますか

三好選手 その日を妥協で終わらせないことです。自分の納得いくまで練習したり、考えたりしています。

赤穂選手 周りへの感謝や謙虚さを忘れないことです。

トップリーグを目指したきっかけはなんですか

三好選手 高3の夏ごろ、小学校の卒業アルバムを見たとき「バスケットボール選手になりたい」と書いてあり、その夢に挑戦してみようと思ったことがきっかけです。

赤穂選手 もっとうまくなりたかったからです。



写真:森田直樹/アフロスポーツ

▲三好南穂選手

これまでバスケットボールをしてきて、

一番つらかったことはなんですか

三好選手 膝のけがをして、1年間バスケットボールができなかったことです。しかし、その経験からそれまでと違う視点でバスケットを見たり考えたりすることができました。

赤穂選手 社会人2年目のシーズンにけがをしてしまい、前線から離脱したときです。

試合前の気持ちの作り方を教えてください

三好選手 ポジティブに考えています。「なんか勝てる気がする」「なんかやれる気がする」。そんなふうにもいつも思っています。

赤穂選手 気負わず、いつも通りを心掛けるようにします。



写真:YUTAKA/アフロスポーツ

▲赤穂ひまわり選手

フリースローなど試合中特に緊張する場面では

どのようなことを意識していますか

三好選手 変に意識をするとミスしてしまうことが多いので、無心になり、邪念を捨てるようにしています。

赤穂選手 自分のリズムでプレーすることを意識しています。

試合中ミスをしてしまったときの気持ちの切り替え方を教えてください

三好選手 ディフェンス、リバウンド、ルーズボールなど、自分の調子の良い悪いで左右されないものを頑張ります。この3つは気持ちがあればできるものだと思います。

赤穂選手 同じミスはしないよう試合の状況に応じてプレーします。

座右の銘を教えてください

またその理由も教えてください

三好選手 『報われるまで努力し続ける』

諦めずにやり続けることが大事だと思っています。

赤穂選手 『初心を忘れない』

感謝の気持ちと謙虚さを忘れないようにするためです。

最後に夢を追いかける子どもたちに

メッセージをお願いします

三好選手 その夢をかなえるために歩いてきた道のりは必ず今後の自分に役立つと思います。一緒に頑張りましょう。

赤穂選手 目標は高く持って、自分の力を信じて頑張ってください。

世界と戦ったトップアスリートの話を聞いてみませんか

10月10日(日)正午から、いちかわスポーツフェスタのオンラインライブイベントを実施します。当日は、メジャーリーグなどでも活躍した川崎宗則選手と市民の交流会を予定しています。このイベントに三好選手と赤穂選手も出演するかもしれません。他にも特設サイトでは、各種スポーツに関する講習などさまざまな動画を配信していきますので、ぜひご覧ください。



▲特設サイトは市公式Webサイトから

今後の広報いちかわで東京2020パラリンピックに出場し活躍した市川市ゆかりの選手を紹介します。